

# 福島第1原発 依然高線量

## 東電公開 鉄骨むき出しのまま

東日本大震災で炉心溶融（メルトダウン）を起こした東京電力福島第1原発（福島県大熊町、双葉町）が4日、昨年に続いて日本記者クラブ加盟の報道関係者に公開された。この1年で、原子炉建物内にある使用済み燃料プールの燃料取り出し作業が一部で始まったが、鉄骨がむき出しにな

った箇所などはそのまま。目に見える大きな変化はないのが実情だ。廃炉に向けた状況を知ってもらおうと、東電が視察や取材を受け入れている。これまでに地元住民や協力企業の社員ら約2万人が視察に訪れた。水素爆発を起こした1号機は鉄骨がむき出しのまま

ま。2018年1月、遠隔操作による大型クレーンで、がれきの撤去を始めたが、放射性物質が飛散しないよう建屋を覆う必要が生じたため、作業が後ろ倒しにな

っている。2号機はロボットによる建物内の調査が進み、21年中に溶融燃料（燃料デブリ）の取り出しを始める予定。3号機は19年4月から、使用済み燃料プールからの燃料取り出しが始まったが、まだ1割ほどしか進んでいない。廃炉措置終了まで30〜40年を目標に掲げるが、道のりはまだ遠い。

東電によると、第1原発では現在、1日平均約4千人が働く。敷地の約96%は一般の作業服で入れるが、その割合も1年前からは変わっていない。取材中、場所によっては放射線の線量計の数字がぐんぐんと上がった。原発事故の実相に今後向き合う必要があると実感した。（村上晃宏）



水素爆発が起き、鉄骨がむき出しのままの福島第1原発1号機＝4日午後、福島県大熊町（代表撮影）

### 名前【 】

① 東日本大震災で炉心溶融を起こした東京電力福島第1原発の所在地はどこですか。

② この1年で1部始まった作業は何ですか。

③ 1号機では今後どのようなことが必要になっていますか。

④ 第1原発では現在、1日平均何人が働いていますか。

NIEワークシート／中学校～高校／社会、総合、朝NIE